

って、いん石の母体が原始太陽星雲中の塵が集まって固化してからのいわゆる固化年代とは異り、固化年代よりはずっと短い。最も長い宇宙線照射年代をもつのはディープスプリングスという鉄いん石で、これも固化年代の約1/2である。石質いん石では先にものべたノートンカウンティという無球粒いん石で、固化年代の約1/5である。一般には、鉄いん石は“億年”の単位のものが多い。石質いん石では100万年から1000万年の間のもが多い。石質いん石の方が照射年代が短いのは、鉄いん石とくらべ、石質いん石の方がこわれやすいため、石質いん石は鉄いん石より後までも何回もこわれた、またそのたびに宇宙線を多くうけてきた表面がけずられてきたためと考えられている。

宇宙線照射年代はこのようにいん石ができてから地球上に落下するまでのうけてきたいん石の歴史を定量的に物語るだけでなく、それぞれのいん石毎に詳しくしらべると、当時の宇宙環境を宇宙線の変化というような形で我々に教えてくれるので、興味はつきない。この方面の研究はまだまだ続けられる。

お知らせ

山田科学振興財団研究援助候補推薦について

山田科学振興財団より学会あてに、下記内容の56年度分研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。

記(推薦要領抜明)

1. 援助の対象: 自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究、特に学際的色彩を持つ研究に従事する個人又はグループ。
2. 援助の金額: 1件につき1千万円前後2千万円以内の援助(A)及び1件につき3百万円前後、5百万円以内の援助(B)を併せて10数件。
3. 援助の期間: 原則として1年。
4. 推薦件数: 1推薦者ごとに(A),(B)おのおの1~2件。

申請用紙を御入用な方は、学会庶務理事までお申し出下さい。申請書は、昭和55年10月10日までに学会あて提出して下さい。

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

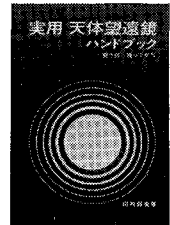
定価380円(〒70円) '81-7月号・6月5日発売!

●7月号のおもな内容

- ★日本全国で7月31日に部分日食が見られます。藤井旭さんが、日食その他の観測ガイドをまとめてくれました。ペルセウスも見ものです。
- ★この日食は北の方ほど大きく欠けます。北海道での観測地ガイドは早川和夫さん。夏の北海道は意外に天候が悪いので、観測地選びは慎重に。
- ★日本で打ち上げた太陽観測衛星「火の鳥」の活躍ぶりを東京天文台の西恵三さんの解説で。
- ★ほかに、1980年の彗星界、香港にできた大プラネタリウム太空館見学記、スペクトルの話、星座ガイドマップ、7月の星空、星物語、天文電気教室……ほか

実用 天体望遠鏡 ハンドブック

■買う前、買ってから



天体望遠鏡の実用的な解説と、選び方の具体的なポイントについて、望遠鏡製作の現場技術者がまとめたもの。これから買う人、部品を揃えようとしている人に最適。

定価880円・最新刊発売中

川村幹夫の天体望遠鏡書

定価1800円・好評発売中

■小口径から観測小屋まで

天体望遠鏡 製作ハンドブック

誠文堂新光社 東京都千代田区神田錦町1-5
振替東京6294 電話03(292)1211